

# 福平・錫山中学校区における 「市長と語る会」発言に対する対応方針

〔開催概要〕

日時: 令和5年11月28日(火)18:00~19:00

場所: 福平福祉館 2階洋室

令和6年2月

鹿児島市 市民協働課

(資料2) 発言要旨

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
1	錫山地域づくり協議会	<p>いろいろな問題がある中で、一番大事なテーマ「交通」について伺いたい。</p> <p>現在、高齢者の方は乗り合いタクシーを利用しており、非常に助かっている。病院・買い物等は、乗り合いタクシーで何とかうまくいっているが、錫山地域は範囲が広く、高齢者は地域のイベントに車がないと参加が難しい。</p> <p>タクシー券やAIオンデマンド交通をうまく利用できたらと考えている。</p> <p>福祉関係でも、「高齢者をもっと地域の人たちと交流をできるように」という話が出るが、どうしても車が必要になり、なかなか参加できない状況である。</p> <p>そこで、車の免許返納者に、電動カートの購入補助などを検討していただき、併せて、タクシー券やAIオンデマンド交通をうまく活用していただきたい。</p>	<p>地域の交通手段については、非常に重要だと思っている。鹿児島市でも「あいばす」や「乗合タクシー」など様々な手段を講じてきているが、バス・タクシーの運転手不足に直面している。</p> <p>まずはA I オンデマンド交通、この実証実験の結果を見ながら、必要な地域に広げていけるようにしたいと考えている。</p> <p>また、国では、ライドシェアの議論が始まっており、この結果を見定めていきたい。</p> <p>電動カートやサボカーについては、国の補助等の動向を見定めてまいりたいと考えている。</p>	企画財政局 危機管理局	【企画財政局】【危機管理局】 市長回答のとおり
2	錫山地域づくり協議会	<p>錫山地域は昔、薩摩の懐というくらい薩摩藩が錫山で潤ったという地域で、いまだに丸に十の字紋が入った坑道などの遺構がたくさんある。</p> <p>錫山の遺構に関する本を出されている鹿児島大学の先生が、よく錫山に来られ、「これだけの偉大な遺構がこのまま埋もれるのは勿体ない」と言われ、遺構を展示するなどして、観光地のようにできないだろうかという案をいただいている。</p> <p>いろいろ方法があると思うが、ふるさと考古歴史館に写真展示をするなどして、いずれは観光地にできないかと思っている。市長にもぜひ足を運んで見ていただきたい。</p> <p>最後にお礼になるが、先般11月3日366回の錫山相撲大会を実施した。市長杯として賞状や盾をいただき、ありがとうございました。</p>	<p>錫山は島津藩の貴重な収入源となったと同時に、薩摩錫器という貴重な伝統的工芸品のもとになったと思っている。</p> <p>薩摩錫器は、私自身も結婚式の引出物や、県外の方へのおもてなしに利用している。</p> <p>遺構に関しては、土地の所有者が私人であることや鉱毒などの課題があるが、まずはご提案のように、専門の先生方とご相談をしながら企画展等への活用を考えていきたい。</p> <p>また、私も機会をとらえて、どこかのタイミングで遺構を拝見できればと思っている。</p>	産業局 観光交流局 教育委員会	【産業局】【観光交流局】【教育委員会】 市長回答のとおり

(資料2) 発言要旨

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
3	平川まちづくり協議会	<p>市コミュニティ協議会モデル校区指定を受けて始まった平川まちづくり協議会の活動は12年が経過している。</p> <p>当初から、地域全体でまちづくりをしようということで、会社、高校、専門学校、飲食店など地域ぐるみでやってきており、功を奏したか分からないが、コミュニティが始まる頃は、小学校の児童数が50人を切るのではないかと心配していたが、現在98名まで増えていき、私たちが心配していた児童減、人口減は解消されてきつつある。</p> <p>その中で、問題となっているのが、校区内に公園や広場がないことである。すべてのイベントにおいて小学校の校庭や体育館を使うため、学校に迷惑をかけている。小学校とは良好な関係であり、学校の剪定作業や校庭に係る作業などを我々もできる限り協力して取り組んでいるが、やはり大きなイベントができる広場が必要である。</p>	<p>平川小学校区では古くから、地域と学校が密に助け合いながら取り組まれていることに敬意を表したい。</p> <p>昔、平川小の校区公民館で議会の報告会をしたときに、校庭に、びわの木を植えられた校長先生の大きな石碑があり、100年以上前から地域と一緒に学校が成り立っているということを感じたところである。これからもぜひ学校と一体となって、地域のために取り組んでいただきたい。</p> <p>ご要望の公園の確保については、財政の状況もあることから、市で広い土地を買って公園整備をすることは困難である。その中で、必要な整備をしていくために、10年以上土地を貸していただけることや、道路の広さなどいろいろな条件があるが、合致する場所があれば、市が借り上げて公園を整備する事業を実施しているため、地域の皆さんの方でここはどうだろうかというところがあれば、地主の方の承諾が前提となるが、担当課と一緒に相談対応していきたい。</p>	市民局 建設局	【市民局】【建設局】 市長回答のとおり
4	平川まちづくり協議会	<p>空き家対策と耕作放棄地が我々の地域では大きな問題となっている。</p> <p>空き家対策については、町内会でいろいろ調べているところである。</p> <p>耕作放棄地は担い手がないため、何とか活用する方法はないかと考え、観光農園化できないかと考えている。都市農業センターもあるが、そこだけでは足りないのではないかと思っている。</p> <p>また、荒地が多くなるとイノシシや害獣が非常に多くなり、作物に被害が出ているため、対策をしていただきたい。</p>	<p>空き家、耕作放棄地等は重要な課題である。</p> <p>空き家対策については、活用方法などを助言する空き家活用アドバイザーを派遣している。お願いしたいのは、早い段階でご相談いただきたいということである。空き家も、使える空き家と、ボロボロになって活用の難しい空き家の2種類がある。早く手を打った方が、色々な活用が可能になるので、空き家の情報があれば、早めのご相談をいただきたい。</p> <p>耕作放棄地については、民間で市民農園等をされたい場合は、市の方で支援を行っているので、担当課にご相談いただきたい。</p>	市民局 産業局 観光交流局 建設局	<p>【市民局】【産業局】【観光交流局】【建設局】 市長回答のとおり</p> <p>空き家については、地域の拠り所とするため、町内会の集会所として活用する場合、町内会に対して申請に基づきリフォーム等の費用を補助している。</p> <p>耕作放棄地等については、本市では、地域の文化や人々とのふれあい、農業体験等を通して、都市部住民と農村地域住民との交流を図る活動（グリーン・ツーリズム活動）を推進し、農村地域の活性化を図るため、民間で自立的・主体的にグリーン・ツーリズム活動を実践している団体・個人の活動支援を目的とした「グリーン・ツーリズム登録団体制度」を設けており、登録の対象となるグリーン・ツーリズム活動の中には、荒廃地の復元や観光農園の運営を行う交流活動も含まれている。</p> <p>また、登録団体に対しては活動紹介やイベント参加者募集の広報支援のほか、補助制度も設けており、活動施設の整備や体験活動等の経費に活用いただける。</p>

(資料2) 発言要旨

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
5	平川まちづくり協議会	<p>最近、児童が急が増えてきたため交通安全対策を考えていかなければならない。錦江湾高校から鹿児島医療技術専門学校までの県道（県道知覧線（23号））は、歩道はあるがガードレールがないため非常に危ないと感じている。県道関係であれば、県に話を持っていかないといけないと思うが、何とかならないだろうか。</p>	<p>通学路の交通安全についても重要な課題である。校区やPTAの方で見回りなどを行っていただいていると思うが、それぞれの箇所、市道や県道であつたりするので、担当課にご相談いただき、県道であれば県にご相談内容を繋らせていただきたい。</p>	危機管理局 建設局	<p>【危機管理局】【建設局】 市長回答のとおり</p> <p>現地状況を確認し、県へ相談内容をお伝えした。</p>
6	野頭町内会	<p>令和5年度の町内会の各種補助制度等の案内の中で、町内会集会施設等は、新築の場合は、半分までの補助で上限500万円とある。</p> <p>この制度の中で、野頭公民館を大改修をしたいと考えている。先人たちが作ってくれた公民館をしっかりと保守しながら、後々の人まで残していくことが大きな使命である。</p> <p>茅葺屋根のある白川郷は、豪雪地帯にあり、鹿児島は温暖地域にあるが、公民館の建物の構造体は合掌造りで共通するものがある。白川郷は世界遺産になっているが、私共の野頭町内会公民館は野頭の遺産であるというぐらい高く評価している。</p> <p>公民館は、明治の後期または大正の初めの頃にはもうすでに作られていた。当時は石造りの地下を養蚕室として使っていた。おそらく、1階フロア部分は、やがては集会所として使われることを見込んで、先人たちが私どもに残してくれた施設ではないかと思っており、どうしても残していきたいと考えている。</p> <p>合掌造りの基本は崩さず、屋根や壁の構造についても、全くセメントや新建材が使われておらず、鎧下見板のように原木の杉板を外壁にしている状態で、1階フロアは間仕切りがなく大勢の人たちが集まっていたような構造となっており、これらを残すためにも、この補助制度を適用していただきたい。</p> <p>鹿児島大学の建物に造詣の深い先生や設計士の方々3名が、12月12日に公民館を見たいという申出もあり、藤武邸が古民家として古いと言われている中で、野頭公民館は、それ程保存に値する建物であると考えている。</p> <p>現在ある制度の中で、ぜひ要望に応じていただきたい。</p>	<p>話を伺いながら野頭の長い歴史を感じさせていただいた。私も県議の駆け出しの頃、野頭を自転車で走り回ったことを懐かしく思い出した。</p> <p>公民館についても、貴重な建物だと思いながら聞かせていただいた。旧藤武邸の話も出たが、鹿児島は特に中心部において、空襲のため戦前の建物はほとんど残っていない。</p> <p>そういった点からも、非常に貴重だと思っている。</p> <p>大規模改修の補助については、来年度の予算を議会に上程して、認めていただけるように努力をする立場であるため、こういった制度の必要性について、しっかりと説明していきたい。また、予算を認めていただいた場合には、優先順位や、採択基準などに照らしながら適切に判断していきたい。</p>	市民局	<p>【市民局】 市長回答のとおり</p>

(資料2) 発言要旨

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
7	福平小おやじの会	<p>現在、福平小学校は、児童数急増による教室不足に対応するための校舎増築が予定されており、校庭にプレハブが立ち、来年からはプールの授業もできなくなる。</p> <p>いろんな学校行事が、増築を理由に小学校で行えない状況で、来年からプールの授業もできなくなるので、特に低学年の子供たちは、水と触れ合う機会がなくなることから、親としては心配している。</p> <p>そういったことへの対策をうかがいたい。</p>	<p>学校増築については、福平小の子供たちに、充実した教育環境を用意しなければならないとの思いから隣の土地を購入し、増築をするという運びとなった。</p> <p>その中で、建設期間中に一定の不便をおかけすることは、非常に申し訳なく思っている。</p> <p>不便を少しでも解消できるように、周辺の市施設や、それ以外の施設を活用して対応をしたい。</p> <p>屋内運動場については、国際大学の室内運動場をお借りさせていただき方向で、お願いをしているところである。</p> <p>水泳については、福平中学校を活用したり、また体育の授業も例えば七ツ島公園など、市が持っている施設を最大限活用したいと考えている。</p> <p>資材不足等々の影響もあるが、少しでも早く充実した教育環境を福平の子どもたちにお届けできるように努めていきたい。</p>	教育委員会	【教育委員会】 市長回答のとおり
8	福平小おやじの会	<p>鹿児島県は観光の都市で、観光に従事する方々も多い中で、愛知県や九州では大分県別府市が導入し、熊本県が導入を検討している「小学校の選択制の平日休み」をどのように考えているか。</p> <p>私も平日が休みの仕事をしており、子供と触れ合う機会が少ない中で、年に一度でも平日の休みを取れるような制度はありがたいと思いつながら、他県のニュースで見たところである。</p>	<p>選択制の平日については、まずは教育委員会から、各地の現状について聞いてみたいと考えている。</p>	教育委員会	【教育委員会】 「小学校の選択制の平日休み」については、一部の自治体において今年度から実施されることとなった新たな取組であり、その効果や課題等が把握できていないことから、今後この取組や国、県などの動向を注視してまいりたい。
9	福平小おやじの会	<p>鹿児島県では分かっているだけで、不登校の子どもが4000人ほどおり、私の周りでも、学校に行けない子どもたちの話を聞いている。</p> <p>フリースクールも充実してきており、学校によっては、フリースクールに行っている日も、登校とみなしてくれるところもあるが、学校によって基準が異なると聞いた。</p> <p>学校によってフリースクールに通っている日の出席扱いの可否が統一されていないことへの見解をうかがいたい。</p>	<p>フリースクールの出席認定については、私自身も柔軟に対応すべきだと考えている。教育委員会でも、出席認定は最終的には校長判断となっている。ただ、形式的に出席していないと欠席と判断せず、フリースクールを含めて柔軟に対応するというのを、教育長から通達を出しているので、引き続き柔軟な対応してもらいたいと考えている。</p> <p>また、私が市長就任後に1人1台タブレットを配備し、当初はコロナで学校に来れない場合に、家で学習をする道具としての活用を始めたところであるが、一歩進んで不登校の子どもの学びの保障であったり、横の繋がりを作ることにも活用できるのではないかと考えている。タブレットを活用した不登校の児童生徒向けの対応を今後考えていきたい。</p>	教育委員会	【教育委員会】 フリースクール等を利用した場合の出席扱いについては、当該施設に通所または入所して相談・指導を受けることを前提とし、保護者と学校との間で十分な連携・協力が保たれていることなど、国から示された通知を基に柔軟に対応している。 学びの保障については、デジタルドリルを活用した個別学習やオンラインによる授業への参加などの学習活動を行っている。タブレットを使った交流活動の充実等も今後検討してまいりたい。

(資料2) 発言要旨

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
10	錫山小中学校PTA	<p>現在、錫山小中学校の児童生徒数は28名で、特認校のため、そのうち9割の子供たちは校区外から登校している状況で、近くは錦江台、遠くは西陵から来ている生徒もいる。乗り合いタクシーの制度もあるが登校時間に使えない。「チョイソコかごしま」も、平日の9時から5時という利用時間になっている。実証実験であるが、運用するにあたっては、錫山に校区外から来る子どもたちも利用できるような範囲に広げていただきたい。</p> <p>また、錫山在住の中学生は高校を選ぶときに、どうしてもスクールバスがあるところを選んだり、寮を選択する。中には子どもをJ Rに送ることに不便さを感じ、錫山地域から離れてしまう選択をする方もいる。</p> <p>今後、こういった公共交通機関について、児童生徒が使いやすい時間設定と料金設定を検討していただけると大変ありがたいと思っている。</p> <p>特に、子どもたちの乗り合いタクシー利用については、小学校でも1年生と6年生では終わる時間が違い、高校生は朝の通学時間も日によって異なる。そういったことから、子どもたちは乗り合いタクシーをフリータイムにいただきたい。</p> <p>(市長回答後)</p> <p>錫山の小中学校に通学している子どもは、不登校で錫山の学校だったら通えるという子もいる。特認校だから、送り迎えの条件がある人に限ってというのは、少し酷なところがあると思う。そういう子どものため、親御さんも少しでも楽にさせてあげられないかというところが我々の考えである。</p>	<p>特認校ということで、地域外から、小規模の目が届く教育を希望して多くの子どもたちが通学しており、ありがたいと思っている。</p> <p>通学手段の確保は悩ましい話で、例えばこの特認校制度自体が、基本的に保護者が通学をさせることができることを条件で、特別に許可する制度になっている。</p> <p>そういった点から、ご要望はなかなか難しいところであるが、今後、新しい交通政策を仕掛けていくにあたっては、地域の方との乗車時間の重複状況や、運転手の確保など、総合的に勘案して取り組んでまいりたいと考えている。</p>	企画財政局 教育委員会	【企画財政局】 【教育委員会】 市長回答のとおり

(資料2) 発言要旨

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
11	野頭町内会	<p>谷山、喜入地区のあいバスは、1か月のうち15日以上は故障して代車が来ている。代車は、ステップが出ないなど、利用者の評判が悪い。</p> <p>100万キロ以上の走行距離がないと、買い替えができないとのことであるが、90万キロぐらい走っている。</p> <p>代車が来たら利用者から「乗りづらい」「クッションが悪い」との声が聞かれる。</p> <p>宇宿、吉野校区は新しいバスが走っており、谷山地区だけがまだ新しいバスが走っていない。</p> <p>早急に新しいバスに替えるよう要望したい。</p>	<p>バスの買い替えは、地域によって区別していることはなく、走行距離に合わせて、順次買い替えを実施しているので、ご意見を担当課に伝え、検討していきたい。</p>	企画財政局	<p>【企画財政局】</p> <p>吉野地域等のあいバス車両については、走行距離の多いものから更新を行ったところである。谷山・喜入地域のあいバスについても故障等が生じるなどの問題はあるが、更新した車両と比べると総走行距離及び年間走行距離は少なく、適宜修繕等を行いながら運行していただいている。今後の車両の更新については、これら走行距離等のほか、公共交通不便地における持続可能な交通手段の調査検討結果なども踏まえながら検討してまいりたい。</p>